

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年1月28日(2025.1.28)

【公開番号】特開2024-174079(P2024-174079A)

【公開日】令和6年12月13日(2024.12.13)

【年通号数】公開公報(特許)2024-234

【出願番号】特願2024-167861(P2024-167861)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

A 63 F 7/02 326 Z

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月20日(2025.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の遊技に基づいて所定の計算値を算出可能な算出手段と、

遊技の進行を制御する主制御基板を備える遊技機であって、

前記主制御基板は、

前記遊技の進行を制御するための演算装置と、

前記遊技を実行するための所定の機能を有する電子部品と、を搭載し、

前記電子部品は、前記演算装置の制御に伴う各種入力信号及び出力信号を送受信可能なロジック部品を含み、

前記ロジック部品には、前記遊技の進行を制御するための信号を出力可能な第1ロジック部品と、前記遊技に関連する情報を表示するための信号を出力可能な第2ロジック部品とを含み、

前記主制御基板には、前記演算装置が配置された領域を含む第1領域と、当該第1領域の外側に第2領域があり、

前記第2領域には、当該遊技機の検査に用いる電子部品を配置可能な検査用部品実装領域が含まれ、

前記第1ロジック部品は、前記第2ロジック部品よりも前記検査用部品実装領域から離れた領域に配置される

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献1に開示された遊技機では、誤作動による興味の低下を招くおそれがあり、改善の余地があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

遊技者の遊技に基づいて所定の計算値を算出可能な算出手段と、

遊技の進行を制御する主制御基板を備える遊技機であって、

前記主制御基板は、

前記遊技の進行を制御するための演算装置と、

前記遊技を実行するための所定の機能を有する電子部品と、を搭載し、

前記電子部品は、前記演算装置の制御に伴う各種入力信号及び出力信号を送受信可能なロジック部品を含み、 10

前記ロジック部品には、前記遊技の進行を制御するための信号を出力可能な第1ロジック部品と、前記遊技に関連する情報を表示するための信号を出力可能な第2ロジック部品とを含み、

前記主制御基板には、前記演算装置が配置された領域を含む第1領域と、当該第1領域の外側に第2領域があり、

前記第2領域には、当該遊技機の検査に用いる電子部品を配置可能な検査用部品実装領域が含まれ、

前記第1ロジック部品は、前記第2ロジック部品よりも前記検査用部品実装領域から離れた領域に配置される

20

ことを特徴とする遊技機。

30

40

50